

令和6年4月2日
墨田区立外手小学校
校長 柿沼 広美

令和6年度 墨田区立外手小学校 学校経営方針

本校は教育目標として「人権尊重の精神を基調として、国際的な視点に立ち、積極的に社会に貢献できる児童の育成を目指す」、スローガンに「世界へ か・が・や・け 外手の子」を掲げています。

「世界へ」は、国際理解教育の推進と充実をめざす意味を込めています。

「かがやけ」には、「か」…「かんがえる子」、「が」…「がんばる子」、「や」…「やさしい子」、「け」…「けんこうな子」とそれぞれがめざす児童像を表しています。

今年度も学校教育目標の実現のために重点とする「めざす児童像」「めざす学校像」「めざす教師像」を具体的に示し、充実した教育活動を進めてまいります。

めざす児童像は、「自分もひと大切にできる子」です。まずは自分のことを大切にでき、それと同じよう他の人も大切にできる子、つまり自他の生命を尊重する子、思いやりをもって他者に接することのできる児童の育成を重要とするという意味を込めています。自分の生命を大切にすることは、心身の健康を保持増進すること、夢や希望をもって生きること、人生において自己実現することの礎となります。他者を大切にすることは、周りの人への思いやりに通じ、人権尊重の精神を涵養します。家族や知人友人をはじめ、学級、学年、学校等の所属意識と愛着、若い人への優しさや高齢者への親切、障害者理解へと広げていくことを期待しています。また、地域から世の中全体、世界へと社会とつながる自己の理解、社会性の基礎となります。他者は「ひと」だけでなく「生き物」「自然」「資源」「地球」へと意識を向け、全ての命を慈しむ態度や心情、自然愛護、環境保護などのSDGSへとつなげます。

めざす学校像は、「子や孫を通わせたい学校」です。保護者や地域の方々が自分の子や孫を通わせたいと思っていただける学校をめざします。そのために、安全で安心な教育環境を確保し、その中で、児童に「知・徳・体」を身に付けさせ、すべての児童が自らの目標に向かってよりよい行動をし続け個としても集団としてもかがやく学校にしていきます。

めざす教師像は、「使命感のある教師」です。児童のことを第一に考えて主体的に職務に取り組み、自己研鑽に励み、指導力を向上させ、仲間と支え合う明るい教師集団を作ります。

今年度もこれらの重点目標を目指して教育活動を進め、学校教育目標を達成していきます。そして、教職員一同、心と力を合わせて、「世界へ か・が・や・け 外手の子」に全力で取り組む所存です。また、今年度は開校109周年になります。次年度の110周年という節目に向けて学校のよき伝統と誇りを大切に、地域と共にある学校として尽力します。皆様の一層のご理解とご協力をいただきますよう、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。